

長岡工業高等専門学校		開講年度	平成30年度 (2018年度)		授業科目	コミュニケーション特講	
科目基礎情報							
科目番号	0159		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	講義		単位の種別と単位数		履修単位: 2		
開設学科	物質工学科		対象学年		4		
開設期	通年		週時間数		2		
教科書/教材	Get Real Level 2(MacMillan) / English/Japanese and Japanese/English Dictionaries						
担当教員	トッド モールド						
到達目標							
この科目は長岡高専の教区目標の(B)と主体的に関わる。この科目の到達目標と成績評価上の重みづけ、書く到達目標と長岡高専の学習・教育到達目標との関連を次に示す。①Students will be able to recognize how native speakers really speak. 35%(b3) ②Students will acquire some strategies to express their opinions in English. 35%(b3) ③Students will be able to relax and enjoy using English. 30%(b3)							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	関心・意欲・態度	コミュニケーションに関心を持ち、積極的な態度で聴く、読む、話す、書くことの言語活動に積極的に参加している。		コミュニケーションに関心を持ち、聴く、読む、話す、書くことの言語活動に参加している。		左記の条件に達していない。	
評価項目2	外国語表現の能力	様々な話題に関して、情報や考えなど、相手に伝えようとする事柄を英語で話したり、書いたりして適切に表現できる。		様々な話題に関して、情報や考えなど、相手に伝えようとする事柄を英語で話したり、書いたりして表現できる。		左記の条件に達していない。	
評価項目3	外国語理解の能力	様々な話題に関して、情報や考えなど、相手が伝えようとする事柄を的確に理解することができる。また、聞き手に伝わるように適切に音読することができる。		様々な話題に関して、情報や考えなど、相手が伝えようとする事柄を理解することができる。また、聞き手に伝わるように音読することができる。		左記の条件に達していない。	
評価項目4	知識理解	様々な話題についての学習を通して、言語やその背景にある文化を適切に理解している。		様々な話題についての学習を通して、言語やその背景にある文化を理解している。		左記の条件に達していない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	This course will develop students' English communication skills through listening and conversing in realistic situations. Students will listen to various English dialogues and practice conversations encountered daily by native speakers. ○関連する科目：英語 3A（前年度履修）・英語 3B（前年度履修）オーラルコミュニケーション 1C（1年次履修）・英語 4A（次年度履修選択科目）・英語特講A(次年度履修選択科目)						
授業の進め方・方法	次に示す項目・割合で達成目標に対する理解の程度を評価する。定期的な試験の実施。その他として出席率、授業態度や参加姿勢						
注意点	If students learn to enjoy English and participate, they can greatly improve their English fluency.						
授業計画							
前期	1stQ	週	授業内容		週ごとの到達目標		
		1週	8A She's too young for me		英語のつづりと音との関係を理解できる。		
		2週	8A She's too young for me		英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。		
		3週	9A This dress is not long enough		英語の発音記号を見て、発音できる。リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。		
		4週	9A This dress is not long enough		文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。		
		5週	9B I'm stressed		中学で既習の語彙を定着させる。		
		6週	9B I'm stressed		語・句・文における基本的な強勢を正しく理解し、音読することができる。中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。		
		7週	Review 3		英語のつづりと音との関係を理解できる。英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる		
	2ndQ	8週	Review 3		相手が明瞭に自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容を聴いて理解できる。		
		9週	Review 3		自分や身近なことについて、前もって準備をすれば口頭説明ができる。		
		10週	10A You can't smoke in the street		リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。自分や身近なことについて書くことができる。		
		11週	10A You can't smoke in the street		自分や身近なこと及び自分の考えについて簡単な文章を書くことができる。		
		12週	10B I have to get a visa		英語の発音記号を見て、発音できる。中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。		
		13週	10B I have to get a visa		英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。中学校で既習の文法事項や構文を定着させる		
		14週	11A Have you ever tried Thai food?		文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。		
		15週	movie		文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。中学で既習の言葉を定着させる。		
16週	movie		文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。中学で既習の言葉を定着させる。				

後期	3rdQ	1週	11A Have you ever tried Thai food>	リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。
		2週	11B My computer's crashed	英語の標準的な発音を聴き、音を模倣しながら発声できる。
		3週	11B My computer's crashed	文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。
		4週	12A Have you bought your tickets yet?	文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。
		5週	12A Have you bought your tickets yet?	リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。
		6週	12B He's passed his driving test	文における基本的な区切りを理解し、音読することができる。
		7週	12B He's passed his driving test	中学校で既習の文法事項や構文を定着させる。英語の発音記号を見て、発音できる。
		8週	Review 4	英語のつづりと音との関係を理解できる。相手が明瞭に自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容を聴いて理解できる。
	4thQ	9週	Review 4	自分や身近なことについて、前もって準備をすれば口頭説明ができる。
		10週	Grammar checks 1-12	自分や身近なことについて簡単な文章を書くことができる。
		11週	Grammar checks 1-12	リエゾンなど、語と語の連結による音変化を認識できる。
		12週	Grammar checks 1-12	英語のつづりと音との関係を理解できる。
		13週	Speaking activities 1-12	中学で既習の語彙を定着させるとともに、新出語彙を習得する。
		14週	Speaking activities 1-12	相手が明瞭に自分や身近なことについて基本的な表現を用いて話す場合、その内容を聴いて理解できる。
		15週	Speaking activities 1-12	文における基本的なイントネーションを正しく理解し、音読することができる。
		16週	Sound checks 1-12	中学で既習の語彙を定着させるとともに、新出語彙を習得する。

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭に聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要となる英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	前8,前14,後8,後16
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	前8,後8
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	
				母国以外の言語や文化を理解しようとする姿勢をもち、実際の場面で積極的にコミュニケーションを図ることができる。	3	
				実際の場面や目的に応じて、基本的なコミュニケーション方略(ジェスチャー、アイコンタクト)を適切に用いることができる。	3	

評価割合

	試験	出席率・態度	相互評価	その他	合計
総合評価割合	70	10	0	20	100
基礎的能力	35	5	0	10	50
専門的能力	35	5	0	10	50
分野横断的能力	0	0	0	0	0